

平成 26 年 1 月 10 日

各 位

会社名株式会社オオバ

代表者名 代表取締役 社長 辻本 茂

(コード: 9765 東証第2部)

問合せ先 取締役 企画本部長 西垣 淳

(TEL. 0 3 - 3 4 6 0 - 0 1 1 1)

業績予想、配当予想の修正及び配当性向目標の導入に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年7月9日に発表いたしました業績予想、配当予想の修正及び配当性向目標の導入を下記のとおりといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

1) 平成26年5月期 業績予想数値の修正(平成25年6月1日~平成26年5月31日)

① 連結

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 連結当期純利 益 | 1株当たり連 結当期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|-------------|------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 13,500 | 百万円 390 | 百万円 380 | 百万円 300 | 円 銭 16.70 |
| 今回修正予想(B) | 13, 900 | 500 | 550 | 500 | 27. 79 |
| 増減額(B-A) | 400 | 110 | 170 | 200 | |
| 増減率(%) | 3.0% | 28. 2% | 44.7% | 66. 7% | |
| (ご参考) 前期実績(平成25年5月期) | 12, 312 | 317 | 349 | 229 | 13. 04 |

② 個別

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当 期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 12,900 | 百万円 370 | 百万円 360 | 百万円 290 | 円 銭 16.14 |
| 今回修正予想(B) | 13, 300 | 510 | 560 | 510 | 28. 35 |
| 増減額 (B-A) | 400 | 140 | 200 | 220 | |
| 増減率(%) | 3.1% | 37.8% | 55.6% | 75.9% | |
| (ご参考) 前期実績(平成25年5月期) | 11,801 | 287 | 340 | 229 | 13. 08 |

2) 修正の理由

平成 26 年 5 月期の通期連結業績予想につきましては、復興関連業務の進捗及び国土強靭化策などのアベノミクス効果等により、当社グループの受注は公共事業、民間需要ともに大きく伸長、業績も順調に推移しており、平成 25 年 7 月 9 日に公表した通期業績予想に対し、連結・個別ともに予想を上回る見込みとなりました。

今後についても、引き続き公共事業、民間需要ともに堅調に推移すると見込まれることから、通期業績予想の見直しについて上記のとおり上方修正するものであります。

なお、当社の売上高につきましては、第4四半期連結会計期間に集中し著しく増加する傾向があります。

2. 配当予想の修正について

1) 平成26年5月期 配当予想の修正

| 17 | | | | | | |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------------------------|-----------|--|
| | 年間配当金 | | | | | |
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| 前回予想 (平成25年7月9日発表) | 円 世 一 | 円 銭 0.00 | 円 世 一 | 円 銭 3.00 | 円 3.00 | |
| 今回修正予想 | _ | _ | _ | 7.00 | 7.00 | |
| 当期実績 | | 0.00 | | | | |
| 前期実績 (平成 25 年 5 月期) | _ | 0.00 | _ | 5.00 普通配当 3.00 記念配当 2.00 | 5. 00 | |

2) 修正の理由

平成 26 年 5 月期の期末配当予想につきましては、通期業績予想における当期純利益が前回発表予想を大きく上回る見通しであり、1 株当たり 3 円から 7 円 (4 円増配)に修正いたします。

3. 配当性向目標の導入

当社は、中長期的な企業価値の向上と株主の皆様への利益還元のバランスの最適化を経営の最重要課題の一つとして位置付けていますが、株主重視の姿勢を更に明確にし、配当額の業績連動性を高めるため、今期より配当性向を目安とする配当方針を導入するものです。

配当金については、連結配当性向を25%程度の水準を目処とするとともに、中長期の企業成長を図るために必要な投資等を考慮し、総合的な判断により配当金額を決定することにいたします。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、 今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以上